

スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業
(スポーツ文化ツーリズム創造・発信事業)

スポーツ文化ツーリズムアワード2020

採択事業13事例 調査報告書



2020年度(令和2年度)

2021年 3月 26日



1. スポーツ文化ツーリズムアワードとは
2. 本調査について
3. 本年度採択された取り組みのご紹介
4. 調査結果
5. 過去に採択された事業者へのインタビュー





1. スポーツ文化ツーリズムアワードとは

スポーツ文化ツーリズムアワードとは

スポーツ庁、文化庁、観光庁の三庁が「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日観光客の増加や国内観光の活性化を図るための取り組みを推進するため、「スポーツ文化ツーリズムアワード」を2016年度から実施している事業で、第5回となる「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」では、本アワードは「スポーツ文化ツーリズム賞」、「スポーツツーリズム賞」、「文化ツーリズム賞」の3賞で構成され、その他、特別賞として、スポーツ庁が推進する「武道ツーリズム賞」及び文化庁が推進する「日本遺産ツーリズム賞」、「食文化ツーリズム賞」の合計6点の賞が設定された。

本アワードに採択された取り組みは、採択企業各庁及び関係団体のWEBサイトで紹介するほか、令和3年2月頃に開催予定の「第5回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」での表彰及び取組内容の発表（予定）など、スポーツ文化ツーリズムに関する今後有望な取組事例として紹介する。また、受賞後3年間、3庁連携シンボルマークを使用したPR活動を許可している。

スポーツ文化ツーリズムアワード 2019 表彰式



(過去の受賞事例及び受賞団体)

《スポーツ文化ツーリズムアワード2020》

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00066.html

《スポーツ文化ツーリズムアワード2019》

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00007.html

《スポーツ文化ツーリズムアワード2018》

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1411958.htm

《スポーツ文化ツーリズムアワード2017》

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1398629.htm

《スポーツ文化ツーリズムアワード2016》

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1383574.htm



2. 本調査について

調査の目的

本事業は「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」で選定した13件の事例について、事業内容やアワードへの応募動機、アワードへ関心のある方へのメッセージなどを受賞団体からアンケートにより聞き取り、公表することで、地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付け、世界に誇れる新たな観光資源を生み出す「スポーツ文化ツーリズム」の定着に繋がることを目的としている。

調査の方法

「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」の受賞13団体にヒアリングシートを配布して調査。

調査した内容

本業務では下記の項目で調査を行った。

1. 受賞された事業内容について

Q1.貴事業の立ち上げに至る経緯（地域での課題や、構想から現在まで）について教えてください。

Q2.貴事業をスタートする際に設定していた目的・狙いについて教えてください。

Q3.貴事業における特徴やPRポイントについて教えてください。

Q4.貴事業を通じて獲得できた実績・成果について教えてください。

（特に数字などで具体的に効果を示すことのできるものがあれば、積極的にご記載下さい）

Q5.貴事業での直近やこれまでの課題があれば教えてください。また、これまで課題に対して対応されてきたことがあれば、そちらも教えてください。

Q6.貴事業での今後の目標や実現したいことを教えてください。

2. 「スポーツ文化ツーリズムアワード」について

Q7.スポーツ文化ツーリズムアワードへの応募動機と、アワードを知ったきっかけを教えてください。

Q8.スポーツ文化ツーリズムアワードを受賞したことへの期待する効果を教えてください。

Q9.スポーツ文化ツーリズムアワードをさらに盛り上げていくために、こういった企画や仕掛けが有効だと思いますか？

Q10.スポーツ文化ツーリズムアワードへの申請数を増やすためには、こういった受賞メリットが有効だと思いますか？

3. ご意見、ご要望

Q11.スポーツ文化ツーリズムの推進に関して、3庁（スポーツ庁・文化庁・観光庁）へのご意見やご要望があれば教えてください。

Q12.スポーツ文化ツーリズムや当アワードに関心のある方へ、メッセージをお願いいたします。

Q13.その他、ご意見やご要望などございましたら、教えてください。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」受賞13団体

■ スポーツ文化ツーリズム賞 (2件)

- おわせ海・山ツーデーウォーク実行委員会・尾鷲市
熊野古道伊勢路と尾鷲市の歴史文化を守り活用する「おわせ海・山ツーデーウォーク」
- 富士山ネイチャーツアーズ
富士下山～富士山の知られざる魅力に出会う自然旅行～

■ スポーツツーリズム賞 (2件)

- 有限会社エクストレモ
あるがままの自然を活用したアウトドアスポーツ“アドベンチャーレース”を全国で展開
- FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 実行委員会
FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019の開催

■ 文化ツーリズム賞 (2件)

- 一般社団法人北前船交流拡大機構
日本遺産北前船を通じた各地の文化資源活用と観光振興～荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～
- 松山市
重要文化財の保存修理工事を観光資源化「道後温泉本館×火の鳥 道後REBORNプロジェクト」

■ 武道ツーリズム賞 (2件)

- Ageshio Japan株式会社
世界でただ一つ！空手発祥地“沖縄”の空手ツーリズム事業
- むらやま武道ツーリズム推進協議会
居合道発祥の地でサムライ体験 山形県村山市

■ 日本遺産ツーリズム賞 (2件)

- 和歌山県和歌山市
日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」をめぐる！日本初のミュージックマラソン「和歌山ジャズマラソン」
- 出羽三山シンフォニー実行委員会
出羽三山の精神文化と山形交響楽団のコラボレーションによるコンサート『出羽三山シンフォニー』

■ 食文化ツーリズム賞 (3件)

- TOYOURA世界ホタテ釣り協会
『TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会』～The world scallop fishing Championships～
- 日本酒蔵ツーリズム推進協議会
「晴れの酒、花の宴。」日本酒蔵ツーリズム推進事業
- 一般社団法人しもきたTABIあしすと
ジオ・ガストロノミー・ツーリズム



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

スポーツ文化ツーリズム賞（2件）

おわせ海・山ツデーウォーク実行委員会・尾鷲市



熊野古道伊勢路と尾鷲市の歴史文化を守り活用する 「おわせ海・山ツデーウォーク」



取組概要

聖地をつなぐ祈りの道「熊野古道伊勢路」は、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録をうけ、これを契機として、同年第1回大会を開催。次いで17回目。全国各地からウォーカーが集まり、海と山とはぐくまれた尾鷲市の、歴史の道を歩む。実行委員会による定期的なコース整備、保全活動により熊野古道のレガシーを後世に伝える役割も担う。スポーツイベントにとどまらない、歴史・文化・観光が融合したウォーキング大会。



評価ポイント

- ・地域の自然を活かしている。
- ・ウォーキング協会との連携や、スポーツ振興への寄与、文化の活用、経済効果、将来性など、実績・総合力で最高評価。
- ・地域との繋がり、結びつき等含めて非常にバランスの良いイベント。

富士山ネイチャーツアーズ



富士下山 ～富士山の知られざる魅力に出会う自然旅行～



取組概要

「富士山の魅力は五合目より下にその七割がある」というツアーコンセプトを基に、富士山を下って楽しむオリジナルエコツアー。五合目まで車で登ることが出来る富士山ならではの地域性を持ち、代謝による体力消耗が少ないことから、体力の強弱、老若男女問わず、疲れることなく五合目より下に広がる豊かな自然や、旧登山道にひっそりと残された富士登山信仰の歴史文化の史跡をゆっくりと楽しみ、学ぶことが可能。富士山に新たな観光様式を取り入れるとともに、自然、歴史文化の保全と健康増進に寄与する持続可能な新たなツーリズム。



評価ポイント

- ・山を下りることをコンテンツ化するという逆転の発想に加え、自然遺産としての富士山を楽しむというところがユニーク。
- ・新たな旅行需要を生み出しながら、自然環境や歴史文化の保全、健康増進への寄与に貢献している。
- ・持続可能なツーリズムとしての発展性に非常に期待。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

スポーツツーリズム賞（2件）

有限会社エクストレモ



あるがままの自然を活用したアウトドアスポーツ “アドベンチャーレース”を全国で展開



取組概要

アドベンチャーレースは、3～4名が1チームとなり、様々なアウトドアアクティビティ（トレイルランニング、トレッキング、マウンテンバイク、カヤック、オリエンテーリング）を駆使しながら、チームで協力してゴールを目指していくレース。アウトドアスポーツの愛好者を始め、親子や初心者向けのレースまで幅広く開催しており、多くの人にその地域の自然や人との触れ合いを体感してもらうこと、アウトドアスポーツの裾野を広げることを目標に、地域交流や地域活性に貢献していくことを目的として展開している。

評価ポイント

- ・参加者の幅が広く、地域との連携、自然の活用など総合点が高い。
- ・インバウンドが復興した際には、大きく着目されるジャンル。地域との連携や、単発で終わらない運営を評価。
- ・独創性や、地域との繋がりがあり、今まで活用されていなかった中山間地域を含めた中小地域を活用できる将来性を評価。

FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 実行委員会



FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019の開催



取組概要

FIBA（国際バスケットボール連盟）主催の3人制バスケットボール「3x3」のクラブチーム世界一決定戦「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019」を開催。宇都宮市のシンボルで、9mを超える宇都宮二荒山神社の大鳥居前・バンバ市民広場に特設コートを設置し、大会を開催。宇都宮を代表するイベントである「宇都宮餃子祭り」、「宮の市」、「MIYA JAZZ IN」を同時開催し、宇都宮の魅力を発信。オープニングセレモニーや試合の合間には、宇都宮伝統の宮壺會神輿や居合道のパフォーマンスを実施。

評価ポイント

- ・独自性、オリジナリティ、地域らしさの観点を評価。
- ・従来のコートにとらわれない海外からも注目される舞台設定や、地元のお祭りとの連携など、集客装置としての可能性を評価。
- ・国際性があり地域と結びついた取組である。将来性を評価。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

文化ツーリズム賞（2件）

一般社団法人北前船交流拡大機構



日本遺産北前船を通じた各地の文化資源活用と観光振興 ～ 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～



取組概要

全国各地で、寄港地の連携、文化資源の磨上げ、国内外の旅行者の増加と地域への経済効果波及、地域の活性化を目指す観光フォーラムとして、「北前船寄港地フォーラム」を平成19年より実施。本年で29回目の開催。地元への経済効果に加え、観光資源の掘り起こしと再認識に寄与。日本遺産構成48市町や日本財団等と協力して、ブランディング、情報発信、経済効果、地域活性化に係る取組を展開。大手旅行会社協力のもと、日本遺産北前船を巡るツアーを設定・販売している。



評価ポイント

- ・ 沢山の地域と連携し、一つ一つを大きなイベントに仕立てている点を評価。
- ・ 長年の取組であり、北前船自体の歴史の連続性や北前船によってもたらされた食文化や生活文化がもっと認識されるべき。

松山市



重要文化財の保存修理工事を観光資源化 「道後温泉本館×火の鳥 道後REBORNプロジェクト」



取組概要

明治27年改築の道後温泉本館は、125年を超えた今も世界中の人々を魅了する松山市の宝。重要文化財の公衆浴場を営業しながらの保存修理工事は、日本初の取組。未曾有の大災害に備えた工事を乗り越えるため、手塚治虫の「火の鳥」とコラボレーション。文化財工事を「再生への過程」と捉えて物語化し、日本が世界に誇るアニメ文化で情報発信。工事・営業エリアを分けて、入浴でき、工事用仮設物を「ラッピングアート」として新たなまちのシンボルに仕立て、文化財工事を「再生の物語」として新たな観光資源に転換。



評価ポイント

- ・ アイデアが斬新。ピンチをチャンスに変えるという言葉が今のこのタイミングにふさわしいのでは。
- ・ バックヤードツアーのモデルになるのでは。新しいアニメとの組み合わせが面白い。
- ・ 修復自体を企画に変えるというコンセプトが良い。限定感が出る。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

武道ツーリズム賞（2件）

Ageshio Japan株式会社



世界でただ一つ！空手発祥地“沖縄”の空手ツーリズム事業



取組概要

世界に1.3億人の愛好家を有する世界最大の武道である「空手」発祥の地「沖縄」で、空手資源・観光資源を融合し、沖縄を訪れる空手家・旅行者を対象に、6ジャンル（空手観光、他武道体験、文化体験等）で合計25点の多様性ある空手ツーリズム商品を開発。空手発祥の地、沖縄に「空手ツーリズム」という、世界中でも唯一の、新たな観光市場を創出するとともに、沖縄県内の空手・観光業界発展への貢献も目指している。



評価ポイント

- ・日本発祥の武道ツーリズムの牽引者になりうる取組。
- ・空手を通じた世界に広がりのある取組として将来性に期待。
- ・高い情報発信力や顧客満足度も非常に評価される。

むらやま武道ツーリズム推進協議会



居合道発祥の地でサムライ体験 山形県村山市



取組概要

山形県村山市には日本一社居合神社があり、居合の始祖が祀られている。居合道発祥の地という地域文化を活かした着地型体験プログラム「居合道発祥の地でサムライ体験」。居合神社の境内に隣接する道場「居合振武館」にて、夢想神伝流居合の形「初発刀」を習い、抜刀術宗家の指導のもと真剣で畳筒を斬る試斬体験ができる。インバウンド訪日客はもちろん、日本人にとっても、忘れがたいエクスペリエンスとなっている。居合道講師、運営ともに地元を中心に進めており、観光資源や農業体験、他市町との連携を目指している。



評価ポイント

- ・海外に経験者が少ない居合を体験でき、日本独自のコンテンツとして海外へのアピールになる。
- ・一般の方に向けたツーリズムコンテンツとして、しっかり磨き上げされている。
- ・地域性を活かした着地型体験商品で、文化的理解、身体的理解、エンターテインメント性が上手く融合している。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

日本遺産ツーリズム賞（2件）

和歌山県和歌山市



日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」をめぐる！日本初のミュージックマラソン「和歌山ジャズマラソン」



取組概要

2001年から実施し、2021年に第20回大会を迎える。マラソンの舞台は日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」。歴史文化を肌で感じながら風光明媚な景色の中を駆け抜けるコース設定。コース沿道に、ジャズのライブステージを設け、生演奏の軽快なリズムがランナーを後押しし、メイン会場では、特産品を味わえるブースを設置。食文化も味わうことができる。地元婦人会、自治会、学生等の協力を得、地域一体で盛り上げている。



評価ポイント

- ・マラソンとジャズという一見ジャンルが異なる両方の要素を上手く調和させている。
- ・地域一体で開催しており、これまで継続した取組を行ってきている。
- ・国際交流の取組や広報の工夫なども評価が高い。

出羽三山シンフォニー実行委員会



出羽三山の精神文化と山形交響楽団のコラボレーションによるコンサート『出羽三山シンフォニー』



取組概要

出羽三山が日本遺産に認定されたことをきっかけに、平成28年より実施し、過去4回開催。出羽三山（三神合祭殿広場）を会場に、山形交響楽団によるフルオーケストラコンサートを実施。屋外でのフルオーケストラコンサートという希少性もあり、本コンサートが組み込まれた旅行商品が造成されるなど、国内外から来場。コンサート映像（概要版）をWEB配信することにより、日本遺産である出羽三山の魅力を広く国内外に発信している。



評価ポイント

- ・精神文化と音楽文化を上手くコラボレーションさせたユニークな取組。
- ・日本遺産を通じた地域活性化により、地域の魅力の再発見や、地元への愛着の醸成に繋がることが期待され高評価。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

食文化ツーリズム賞（3件）

TOYOURA世界ホタテ釣り協会



『TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会』 ～The world scallop fishing Championships～



取組概要

北海道豊浦町は、噴火湾における「ホタテ養殖発祥の地」として50年以上の歴史がある。そのホタテを活用した世界大会として、公式ルールなどを決め、平成21年より毎年3月に個人戦（現在までに12回開催）の開催、秋には団体戦やジュニア大会（現在までに各7回開催）を実施。1試合の制限時間を3分間とし、専用の釣竿で水槽内の活ホタテが何枚釣れるかを競う。大会開催だけに限らず全国各地へのイベント出張や、教育旅行・インバウンド・インセンティブツアー等の体験プログラムとして同競技を普及すべく、様々な活動を行っている。

評価ポイント

- ・一目見て、自分もやりたいと思えるユニークな取組。
- ・豊浦町の特色を上手く活かしたイベント。運営努力もみえる。
老若男女・国籍も問わず皆が気軽に楽しめるご当地競技として発展している。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会



「晴れの酒、花の宴。」日本酒蔵ツーリズム推進事業



取組概要

日本酒をはじめ日本産酒類の消費量が減少しているなか、文化財を人が集う場として活用し、最新ビジュアル技術を駆使し、訪日客など内外に発信することにより、日本の酒の復興（ルネッサンス）を目指す。旧醸造試験所第一工場（通称：赤煉瓦酒造工場）では、重要文化財である赤レンガ倉庫の見学、醸造文化である酒造りの理解、食とのマリアージュ、伝統芸能である酒をテーマにした落語など、日本産酒類とそれに関連する文化をテーマにしたイベントを開催。貴重な文化財の認知拡大や酒食をはじめとする日本文化の周知、さらに「日本酒蔵ツーリズム」の認知拡大に継続的に取り組む。

評価ポイント

- ・各地域ともうまく結びつきながら様々な事業を展開している。
- ・酒類の文化は芸能や郷土食など幅広い文化と関連しており、これらの文化の保存・活用にも資することを期待。
- ・昨今の海外における日本のお酒に対する評価も高くニーズがある。



3. 本年度採択された取り組みのご紹介

食文化ツーリズム賞（3件）

一般社団法人 しもきたTABIあしすと



ジオ・ガストロノミー・ツーリズム



取組概要

国定公園に指定され、日本ジオパークにも認定される下北半島の自然。この自然・景観(ジオ)の独自性、また、ジオにより恵まれた食資源・食文化の独自性(豊かさ)を、シンボリックに伝えるため、特異なジオ環境下で、下北の食材をふんだんに使ったダイニングイベントを「下北ジオダイニング」と銘打って開催。開催により、下北地域の独自性を明確化するとともに、広報により、その魅力を発信している。

評価ポイント

- ・地域性を活かした本質的なところについており、「ストーリー」としての見せ方もうまい。
- ・ツーリズムとしての建付けや食の考えもしっかりしている。
- ・広報戦略を行いながら地域ブランディング推進に貢献している。